

つるおか芸文だより

第12回 鶴岡市決定芸術祭賞



鶴岡書道会会員の皆さん(閉幕のつどいにて)



大賞を受ける佐藤政一会長

佐藤会長筆の報告書より
前年度並みの出品数だったが、見やすい展示を心掛けた。来年は更に多くの出品者、出品数を見込みたいと思います。

壁面を使って、幼児、小・中・高生、1,100人が半切の大字部、半紙の普通部にそれぞれの課題を出品。このほか一般約20人が書体、サイズ、表装を自由に出品。幼児から大人まで、懸命に書いた力作が一堂に展示された会場は壮観で、圧倒される思いで鑑賞した。可動式壁面を活用しての飾りつけも見やすく、会場は親子連れで賑わい、大盛況の書道展であった。

書道教育の普及振興を図る目的をもって開催して69回。
鶴岡の書道文化の礎を築き、
鶴岡の書道会を牽引してこられた功績は多大なものがある。

大賞に鶴岡書道会（第69回荘内書道展） 準大賞は日本九重流朝陽清吟会

会場アートフォーラム2階の全壁面を使って、幼児、小・中・高生、1,100人が半切の大字部、半紙の普通部にそれぞれの課題を出品。このほか一般約20人が書体、サイズ、表装を自由に出品。幼児から大人まで、懸命に書いた力作が一堂に展示された会場は壮観で、圧倒される思いで鑑賞した。可動式壁面を活用しての飾りつけも見やすく、会場は親子連れで賑わい、大盛況の書道展であった。

「敬天愛人、西郷南洲を詠う」

をテーマに、第1章「天意を知る」、第2章「回天の胎動」、第3章「維新と西南戦争」に構成され、西郷の詩を中心にその生涯を40演目で発表。改めて西郷南洲の氣韻高來、徳と克己の生き方に感動。招待者も構成吟詠者となり、会員とともに吟力のすばらしさを披露された。

特別出演の空手演武、保育園児の童謡、剣舞も会場を盛り上げた。今回のNHK大河ドラマ「西郷どん」に先がけた見事な演出であった。



閉幕のつどいで準大賞を受けた九重流朝陽清吟会

❖シンフォニック荘内流第29回公演

❖庄内なつめ口会発表会

❖あつみ作品展

❖宝生流・観世流合同謡曲大会

シンフォニック荘内流

庄内なつめ口会

粕谷書道教室ほか

宝生流鶴岡五雲会・庄内謡曲愛好会

齋藤茂吉文化賞受賞



「ありがとうございました」

柿崎泰裕 氏

この度、齋藤茂吉文化賞受賞の栄に預かりましたこと、皆様のご指導のおかげと心より感謝申し上げます。

大学時代の師の教え「何か一つ、始める一人に! 諦めず続ける! できないことを人のせいにしない!」を胸に、40年間活動してきました。全ての活動において大切なのは、始めた一人の「思い」です。そして、その「思い」を受け継ぐこと、共感した人がさらに手をつなぐことにより、広がり高まります。私の受賞は、戦後直ぐに音楽文化を立ち上げられた偉大な先輩たち、さらにこの「思い」を大切にしてバックアップして下さる地域の芸術文化協会、関係者の皆様のおかげと思い、あらためて感謝申し上げます。私はこの受賞を励みに、これまで同様、一緒に活動してくれる仲間を大切にしながら、地域に根差し・地域を大切にする活動、学校と社会をつなぐ活動、感動のある音楽活動を、楽しく続けて行きたいと思います。そして、次世代につながる種をまき続けます。本当にありがとうございました。



祝・瑞宝双光章を受章



佐藤 政一 氏
(鶴岡書道会会长)
30年1月1日付 受章



石田 雄 氏
(芸文協 元事務局長)
29年12月1日付 受章



放送児童合唱団による祝歌で開幕を祝った



NPO法人鶴岡市芸術文化協会会長

東山昭子

第12回鶴岡市芸術祭も市民各位と多くの感動を共有しながら、大きな成果を挙げて終了しました。閉幕の集いに結集されたあの笑顔と達成感には、次の展開を明るく期待させる活力を感じさせるものがありました。受賞された団体の皆様に心からお祝いを申し上げます。3カ月余の長きにわたり、誠心誠意審査に当たつ

て下さり、様々な分野にわたる芸術の世界で、まさに「美と愛の感動」を基盤に精進し合う仲間の友情の証としての受賞団体決定まで、ご尽力を下さいました審査委員各位に、改めて深甚の謝意を表するものであります。有難うございました。

「荘銀タクト鶴岡」も、いよいよグランドオープンを迎えます。「建物は、活用されてこそ、いのち輝かす」ものであります。おためし期間中、この冬の厳しさ激しさをものと

するほどの感動をおぼえました。その中には、加盟各団体に協力を願い、鶴岡各地域の方々のお力添えを頂いていた。高齢少子社会が進展する中、小学校の統廃合が進み、地域に子供の姿が見えない現実を超えるモデル事業ですが、芸術文化を次世代につなぐ役割をしっかりと頂き高い評価を受けました。法人としての経営能力も磨きながら、県民芸術祭閉幕公演を行政と連携して成功させたいと願っています。



閉幕のつどいの最後に新市民歌を皆で歌い会を閉じた

創立93周年・平成29年度 白甕社美術展
(公募) ● 9月1日～9月13日
アートフォーラム

まだ、一緒に語りましょで
田川民話の会 ● 9月10日

なの花温泉 田々

伝承文化の伝承を使命として
さとう波会 ● 9月17日

● 中央公民館



爽やかな芸術の秋らしい開幕を迎えるました。好天が幸いし入場者が増加しました。一方出品者は一般が若干減少しましたが、出品作品は会員・一般共に力作が揃い、特に学生を始め若い世代の個性豊かな作品が会場に迫力を与え見応えのある充実した白甕社展となりました。また、このたびは彫刻、工芸部門の秀作も目立った展覧会だったと思います。

(五十嵐千恵子)

琵琶で語る歴史物語
錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部

第48回錦心流琵琶演奏会 ● 9月10日
中央公民館



初めてに会員一同で鶴岡市指定文化財である琵琶曲「金峯山瘞琴碑」を齊唱、続いて奥伝昇伝披露1名を含め会員7名と新潟・秋田・酒田支部の3名計10名が琵琶曲を独演する。物語が理解されるよう壁に歌詞を映す。又、地元の物語を四曲や歴史の有名な物語を取り上げ、親しみある曲目を演奏する。

(市川清治)



書への情熱と共に
書法研究 山紫会

● 9月15日～18日
アートフォーラム

26名73点の出品でした。昨年に比べ大きな作品が少なくなりましたが、小字数、多字数それに俳句を題材にしたものでも、かな、調和体で挑戦したものもあり、個性的な楽しい雰囲気の会場を造ることことができました。また昨秋、講師平田羽山氏が県より齋藤茂吉文化賞を授与されたことを祝って、羽山コーナーを設けました。

(小林空山)



鶴岡は面積では東北一広い地だが、私共はそれに南庄内を加えた地を活動テリトリーとしている。三川では平成14年以来2度目の開催。やはり主役は若手の語り部(東郷小4名の有志)で自分の住んでいる地の話を、学校では使っていない庄内弁で語ってくれ大好評。会員の語りは各人独自の口調・間のとり方・締め方等々努力の跡十分。

(菅原正朝)

あつみ作品展
粕谷書道教室 ほか

● 9月22日～24日
湯瀬ふれあいセンター



今回の作品展では新たな参加をいただきました。白甕社展に於いて本間美術館賞の栄に輝いた、佐藤豊さんの切り絵、当芸文協の講座により生まれた「俳句悠遊」の作品。そして会場の出入口には、手芸サークル「福福」さんの作品をウエルカムボードとして展示、文化祭に於いて多くの傘福となり、ロビーの天井を彩ることになりました。(粕谷洋子)



昨今、民謡も芸術として洗練され続けています。素朴さと音楽性も重要な条件となる。ただ此の方向は、一握りの技に長けた人にしかできないが、私達もそれを目指しつつも、誰でも唄える従来の平易なものを見、まず唄いこなさないと、次世代に正しく伝承出来ない。

まずは、自分も納得し、他人をして感動させなければならない。

(佐藤睦)

して洗練され続けています。素朴さと音楽性も重要な条件となる。ただ此の方向は、一握りの技に長けた人にしかできないが、私達もそれを目指しつつも、誰でも唄える従来の平易なものを見、まず唄いこなさないと、次世代に正しく伝承出来ない。



さらなる高みをめざして
「テーマは藝」
シンフォニック莊内流

昨年県芸術祭奨励賞を頂戴し、今回はさらなる高みをめざしてテーマを藝とし、旅、想い、和色、春景色、シンフォニーの全五景をそれぞれの場面の出来事を思い起こしながら演奏にのぞみました。朝陽五小の文化等クラブや市民参加型ミュージカルジュニアの歌の応援などをいただき、その想いはきっとお客様にも届けることができたのではないかと思っています。（梅津芳春）



アートフォーラムに乾杯
—東書道会鶴岡支部聯雅会

34・35周年の仮名書き作展を、アートフォーラムの会場で、第11回12回の鶴岡市芸術祭に参加させていただけた事！我々一同喜びでありました。又他の展覧会をお互いに鑑賞し合える喜びもありました。仮名の作品を皆様に認知していただける事も嬉しい事で、会場がすばらしい事は、作品も映えて、相乗効果をもたらす事です。（阿部律子）



ご来場者に支えられて
—鶴岡和紙ちぎり絵サークル

会員それぞれが想いを込めた作品と特別企画の懐かしい作品、子供達のクラブ活動や体験講座の個性あふれる作品を展示しました。会場もゆったりしててとても良い、など連日大勢の皆様にご来場いただき喜んでいただきました。会員一同感謝の気持ちでいっぱいです。来年に向かっての大きな励みになります。（押井享子）



裏千家淡交会庄内支部は今年45周年を迎えました。今般の茶会は濃茶と薄茶の2席でしたが、濃茶は日頃あまり体験することが少ないことから参加者には存分に味わっていただけたと思つております。

茶席では初秋を感じる道具の取り合せに、日常では味わうことのできない新たなひとときに触れていただけたのではないでしょうか。

（小林宗健）

● 9月24日
中央公民館

アートフォーラムに乾杯
—東書道会鶴岡支部聯雅会

● 9月29日～10月1日
アートフォーラム

ご来場者に支えられて
—鶴岡和紙ちぎり絵サークル

● 10月5日～9日
アートフォーラム

一服どうぞ

茶道裏千家淡交会庄内支部鶴岡地区

● 9月24日
出羽庄内国際村

違った雰囲気

佳陽会



第39回佳陽会日本画展は15名の会員が47点の作品を展示しました。作品はおおよそ小品とは会場の中心部に展示し、雰囲気を盛り上げました。会場が例年と違つたので、最初は色々と不安がありましたが「いつもと違つた感じでいいよ」という感想を頂きました。

（後藤郁代）

● 9月26日～10月1日
アートフォーラム

秋の日に茶の一服を

表千家同門会山形県支部庄内地区

● 10月1日
致道館



爽やかな秋の中であげる一服の茶に大ぜいの方々からご入席頂きました事感謝申し上げます。秋の風情を感じて頂ければと主菓子栗きんとん、干菓子赤とんぼ模様の煎餅と俵、お席での一服の茶を通し皆様には心安らげおもてなしができました。これからも茶の楽しみを通してほしいと思います。（豊田宗文）

V i V i バレエスタジオ発表会

● 10月8日
中央公民館



如月会水墨画展

● 10月14日~17日
中央公民館



出品数は53点（昨年比プラス4）10～50号（昨年比プラス10）軸（8号（昨年比マイナス6）で、大きい作品が増えた。全国展で上位入賞作品から習作まで幅広く内容も充実した展覧会となつた。入場者は初々常連者大多数でした。

今後、新たに出品する人を増やし、またさらに内容を充実させていきたいと思います。

（梅本幸仙）

今年の発表会はスタジオの中心となつていて、生徒が大学進学の為上京してから、初めての発表会になりました。小学生の生徒が先輩達の様に練習を重ね、より努力し上達する事を期待しています。

今年V i V i バレエスタジオは56周年を迎えます。今回は特別出演のプロのダンサーと共に、大人、子供も一団結して11月の公演に向かって練習に励んでいます。（佐藤千春）

新たな「気づき」の歌会

● 10月15日
第55回鶴岡市合同短歌会



第30回庄内なつメロ会発表会

● 10月15日
中央公民館



ご来場の皆様方に喜んでいただけることを念頭に、限られた経費と高齢化する会員の機動力を全開出来る事を心がけ継続してきました。特に今回は30回目の記念すべき発表会となり企画を実行しました。

結果として終始満席のうちに終演。更に5回目の芸術祭優秀賞もいたく事となり、新たな出発点になりました。

（加藤隆三）

「N H K 短歌教室講師」詠進歌入選の実績をもつ山中律雄氏を迎え、若手禅僧らしい感性の歌評・講演に新しい気づきの合同短歌会でした。出詠60首。司会、進行も合同歌会らしい行き届いた準備と配慮で滞りなく、若い世代の参加をどのように進めるかの課題は残しましたままではあつたが秋田皓爽の市民公募短歌会でした。（東山暁子）

第54回各流派合同いけばな展

● 10月21日~22日
アートフォーラム
鶴岡市いけばな7流派



第82回つるおか小品盆栽展

● 10月20日~22日
中央公民館



展示会を開催してから40周年を記念し、松と水石と砂や苔を駆使して「枯山水ミニ庭園」を作成して来場者に楽しんでもらった。各自の展示も「秋の情景の演出」に創意工夫が見られ、1年間の活動の成果を発表できた展示会だった。

（上林節男）

第54回各流派合同いけばな展は2日間の開催で2,530人の方々にご入場頂きました。アートフォーラムの1階と2階に7流派合計177点の作品を出瓶し、それぞれの流派の個性を發揮できました。来年度は55回目を迎えるので更に研鑽を積んで皆様に「いけばな」を楽しんで頂きたいと思つております。（中村理恵）

古いも若きもはつらつと

八沢会

10月22日
中央公民館

剣聖流鶴岡剣聖会「剣と扇の舞」

● 10月22日
第三コミニセン

当初の開催予定会場が突然変更となり、お客様への伝わりが心配でしたが、多数のご来場頂く事ができ安堵致しました。一般剣詩舞は華やかに、「構成舞」は幕末に活躍した志士達の人間模様の勇壮な演舞で会場が盛り上り一体となる事ができました。会場を変えて多くの方に剣詩舞が愛されている事を大切に、今後の励みとして活動を続けていきたいと思います。(佐藤昌直)



八沢会の特徴のひとつが、古いも若きもこそつて舞台を作つていぐところにある。今回も下は小学生から上は90才まで、唄と踊りで盛り上げた。尺八や琴、玉すだれなどもあり、4時間近い時間をあきさせない内容で大変喜ばれた。出演者の高齢化はすんでいるが、新加入者も居り、まだまだがんばっていきたい。

(鈴木 末)

第24回飛雲会展

書道研究 飛雲会

10月25日～29日
アートフォーラム

秋季さつき盆栽展示会

● 10月27日～29日
中央公民館

今年の秋季展示会は春の花季展の様な華やかさは有りませんが、樹形を見る楽しさを強調し、基本形が多くあります。秋のさつき盆栽は樹形を見ながらご覧戴くことが一番楽しいとおすすめした結果、多くのご来場者より賛同戴き盛況に終えました。会場を変えてこれからも活動を続けていきたいと思います。(進藤慶順)



会員の1年間刻苦精励した作品は、書芸術の魅力を横溢した展覧会となりました。篆、隸、楷、行、草、かな、南画、篆刻と会員の力量に応じ、小品から10尺物の大作まで展示出来、新たな傑作を得られました事に感謝します。

(渡部飛雲)

朝日俳句・短歌・川柳合同展

朝日俳句の会 ほか

10月28日～11月5日
朝日中央コミセン

満席のお客様の前で

● 10月28日
アートフォーラム

今年は、5周年祭をワインで祝おう!と題し、ワインを題材にした楽曲を取り上げ、また、山形交響楽団首席トランペット奏者・井上直樹さんをゲストにお招きし、イタリアの映画音楽、ヅッチーニのオペラ等の作品を演奏した。当日は会場が満席になる程のたくさんのお客様からご来場いただき、演奏する者として、至上の喜びだった。

(伊藤 聰)



あさひ産業文化まつりの開催期間に合わせて、今年も俳句・短歌・川柳合同展を開催しました。今年度も、俳句部門で小中学生から多くの出品があり、合同展の出品点数が二九九点と見ごたえのある展示になりました。俳句を通して学ぶことの楽しさをこれからも追い求めていきたいものです。

(小野寺一郎)

第41回吟詠大会

日本九重流鶴城清吟会

●10月29日
中央公民館

「庄内の漢詩を詠う」をテーマに十題の構成吟を公演した。「庄内の山河」を詩舞、書道を取り入れ調和のとれた舞台を演出し、芸術性高い公演を発表した。園児の童詩は練習を重ねる毎に、見違える程上達した。社会人の吟詠は終業後の練習に集中力を結集した。

次回も早い時期から準備を始め、市民が楽しめる公演にしたい。

(松本歓洲)

第5回フォト・アイ写真展

●11月1日～5日
アートフォーラム

「義・雪に散る」熱かった一日間

●11月2日～3日
中央公民館

会員各人がテーマを設け、それに添った作品を展示しました。そして、それぞれの先頭に撮影の意図やねらいをパネルで表示したので、見易かつたと思います。

多くの方々に御覧頂き、様々は御意見を賜りましたこと深く感謝申上げます。

今後もより良い作品作りを目指して、精進して参ります。

(佐藤 稔)



前回の公演で、大賞を受賞いたしましたので、今回は特別参加の公演となり、表現舎が総力を結集して取り組みました。地元に伝わる事象を舞台化する事が出来て光栄でした。時代物は全ての面で大変でしたが、若い座員のパワーで印象深い作品になりました。

今後もより良い作品作りを目指して、精進して参ります。

(佐藤正二)

遠州流茶道山形支部

●11月5日
アートフォーラム

遠州流茶会は、致道館と鶴岡アートフォーラムの2会場で茶会を開催いたしました。フォーラムでは、赤や黄色の紅葉がガラス越しによく見え、きりりとした袴姿の男の子たちも清々しく、大変好評でした。致道館のお席は青年部が担当しまし。重厚な設えの中、お客様は異なる2席の雰囲気を楽しめました。

(堀 宗敬)

フォトサロン写楽写真展覧会

●11月1日～5日
フォトサロン写楽

写真展覧会のメインテーマはそれぞれの視点。ご覧になられた方から感動して頂けるような作品を目指し1年間撮り続けました。物事を伝える手段には言葉や文章がありますが、一枚の写真是千の言葉を語る。と言われるほど写真には伝える力があります。ご覧下さった皆様へ伝えることができました幸甚でございます。

(岡崎利男)

心の琴線にふれる朗読の世界

●11月4日
劇団妻の会

ベテラン団員の高齢化と、若年層の多忙化による稽古不足で、本番日の部ではまだ動きが定まらない状態でした。それでもわざわざお運びいただいたお客様の「楽しかったよ」の声には、申し訳なくも感謝の気持ちでいっぱいです。

(加賀山捷三)

●11月4日
中央公民館



熱意が感動を呼ぶ作品並ぶ

● 11月8日～12日
アートフォーラム

庄内写真研究会

市芸術祭に参加して
24回目の作品発表会を
迎え、出品会員7名で
各自のテーマを徹底追
及の結果、全作品に豊
かな感性が表現されま
した。

観覧の皆さんから
熱意と感動が伝わった
と大好評を頂き、また、
温かいご支援を頂き大
盛況に終了致しました。
(佐藤時彦)



今年の団員は小学生
が19名に中学生が6名
です。第71回定期演奏
会はたくさんのお客様
を迎えて成功裏に終え
る事が出来ました。

第一部の基本を大切
に選曲した「歌の花か
ご」、音楽の原点を学
んだ第2部ヨーロッパ
の曲、そして今年もミ
ュージカル「100万
回生きたねこ」が感動
の涙を誘い大好評でし
た。

(伴 和香子)

命輝く子供たちの歌声を

● 11月5日
中央公民館

第69回荘内書道展覧会

● 11月9日～12日
アートフォーラム

スイング・クレインズ・ジャズ・オーケストラ

● 11月12日
中央公民館

宝生流・観世流合同謡曲大会

● 11月12日
第一コミニセ

宝生流鶴岡五雲会・庄内謡曲愛好会

観世流同好会が解散
し大会のまとめに苦心
した。羽黒水曜会が不
参加となり3団体30名
の出演となつた。仕舞
で初めて小学生が2人
で出演し会場を沸かせた。
反省点としては入場者の
少なさが上げられよう。

(上林清一)



鶴岡・田川地区より
の保・幼・小・中・高・
一般からの応募作品1,
300点、ほぼ前年度
並みの出品数でした。
学年ごと、学校ごと、
高さなど、見やすい展
示を心掛けました。一
般は時期的に芸術祭と
重なり、応募が少なか
った。

多くの出品数を見込
みたので、要項の配
布時期を早めたいと思
います。

(佐藤政二)



高齢者の健康維持と趣味の促進

● 11月18日
東京第一ホテル鶴岡

日本九重流朝陽清吟会

会員構成と指導者の
力量からして一流の仲
間入りは難しい。二流
以下の成果発表でも、
昨日より今日の出来は
満足できるものなら習
う趣味も楽しく社会を
明るくし自身の励みに
なり家族の協力も更
に強くなり健康維持促
進に繋がると確信する。
芸術祭の評価は大変難
しいと思う。参加する
には心柄えと評価をし
て頂く気概を。

(百瀬皓洲)



森サカエさんの年齢
を感じさせないパワフルな歌声に、演奏の我々も大いに乗せられ、楽しい演奏会になりました。来年度は完成した荘銀タクト鶴岡で演奏ができるので、皆様の期待に応えられるようなステキなゲストと観客の皆さんと一緒に大きいに楽しめるステージを創っていきたいと考えています。

(橋本祥造)

鶴岡放送児童合唱団

● 11月5日
中央公民館

第77回公演『ザ・シェルター』 ● 11月18日
劇団だいこん座
中央公民館



第33回定期演奏会

鶴岡吹奏楽団

● 11月19日
中央公民館



肌寒い風雨の中、多くの皆様にお越しいただき、御礼申し上げます。今年取り上げた脚本「ザ・シェルター」は、核ミサイル・核シェルター等の単語が飛び出し、にわかに現実味を帯びてきた最近の情勢と相まって、お客様には好評の感想を多く頂戴しました。さらに完成度の高い舞台作りを目指し、前進して参りたいと思います。

(さとうひでき)

今年度より指導者として小塚類氏をお迎えし、より質の高い演奏を目指して日々の練習に励んで参りました。演奏会ではドボルザク作曲の交響曲『新世界より』や映画『美女と野獣』からのメドレー等を多くのお客様に楽しんで頂くことができました。これからも吹奏楽の力強さや温かさ等の魅力を表現し、吹奏楽の発展の為に一層精進して参りたいと 思います。(高橋宏知)



無事盛会に開催できた事への感謝

吉続舞踊学園

● 11月26日
中央公民館



合唱界を牽引する信長貴富氏に編曲委嘱した。70年代の歌謡曲を作曲家の前で初演し皆様に聴いていただきました。3日後の全国大会の曲も披露いたしました。おかげ様で6年ぶりに「金賞」を受賞することができました。ハードな日程でしたが、演奏会、コンクールともに成功裡に終わることができた。親睦が深められ、指揮される事が写真展をやつて良かった。思いで一杯です。(阿部淳二)

当日は荒天の中を、満席の観客の皆さんに恵まれ、創作作品を良き特性とする現代舞踊の世界を充分に見てもらえた事がうれしい。中央公民館という限られた空間を生かしきり、舞台の華は結実をむかえるに至ったと感謝の気持ちでいっぱいです。すべて皆様のおかげです。さらに高みを目指して、皆で精進努力を重ねます。(吉続正義)



バウムクーヘンオータムコンサート

バウムクーヘン

● 12月3日
中央公民館



出羽三山に係わる祭事スナップ、大鳥居光景、ローカル線、角間富山の四季、月山の花等を作品として展示しました。写真に共感されたり、指摘される事が写真展をやつて良かった。作品説明に会員の顔写真を添えるやりかたは継続した。親しく多くの方と語りあえたことは最高の収穫だった。写真技術の向上を目指しながら次の写真展を準備したい。(榎本重彦)

(榎本重彦)

第66回定期演奏会 ● 11月18日
鶴岡土曜会混声合唱団
中央公民館

第10回写団はぐろ会員写真展 ● 11月23日
写団はぐろ
中央公民館

● 11月29日～12月3日
アートフォーラム

保育園児の可愛らしい演奏から、大学院生の迫力ある演奏まで、地道な練習の成果である数分間の輝く時間を皆様と共に共有できた事を嬉しく思います。来年度の演奏会に向けての子供達の挑戦はもう始まっています。その姿をしっかりと見守り、励ましながら活動を続けていきたいと思います。大勢の皆様に感動を与える演奏会をめざして。(安達満美)

地域の絆を深めて

ふじしま文化フェスティバル2017

作品展示・芸能発表会・音楽祭・文化講演会

● 10月6日～11月18日

● 藤島地区地域活動センターほか

ふじしま文化フェスティバルが10月6日から約1か月間開催されました。

第46回藤島藝術文化祭は10月27日から29日まで開催され、茶会・民話の語り、絵画など246点が展示され、28日合同茶会・民話の語り、人が21演目を披露し大盛況でした。また、

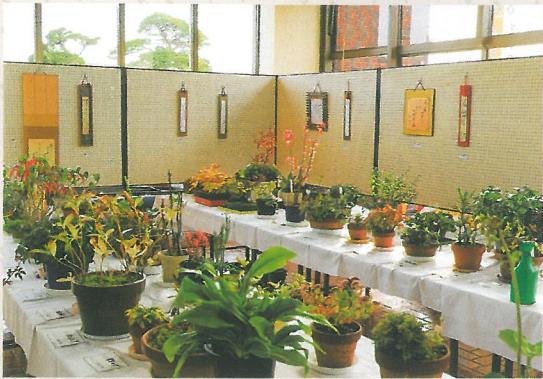
11月4日には、第28回ふじしま音楽祭が開催され、15団体335名が出演し、幼稚から高齢者まで幅広い年代の方々が思い思いのハーモニーを奏していました。

フェスティバル最終日11月18日は、気象予報士天達武史氏による「ちょっと変かな? 最近の天気」の演題で講演会がありました。

期間中、5地区的藝術祭、各小中学校及び庄内農業高校で文化祭も催されました。

(ふじしま文化フェスティバル実行委員会)

第12回 鶴岡市藝術祭協賛・地域文化祭から



「はぐろ秋まつり芸術祭」が今年も11月3日から5日までの日程で開催され、作品展示、芸能発表、囲碁・将棋・俳句大会が行われました。

展示部門は羽黒体育馆アリーナを会場

に、書道・絵画・写真・手芸など1,110点余りの多彩な作品が展示されました。



また、地域交流事業として他地域の方の作品も出展され、見ごたえのある展示となりました。

5日の芸能発表会は羽黒コミュニティセンターを会場に幼稚から大人まで20団体182名が参加し、歌あ

り、踊りありの様々な発表に会場は盛り上がりました。フィナーレでは観客もいっしょに「鶴岡市民歌」を歌い盛会の内に幕を閉じました。

この間、多くの市民が芸術に触れ、楽しいひと時を過ごしました。

(羽黒藝術文化祭実行委員会)



歌あり踊りあり見ごたえある展示

第49回 くしごき文化祭

文化財めぐり・作品展示・まなびいステージ

● 10月22日～11月19日

● 柳引公民館ほか

研修部門の文化財めぐりは、上山市を訪れました。風雨の強いあいにくの天候でしたが、参加者は

地元ガイドからの丁寧な説明に聞き入り、県内の文化財を学びました。また、昼食

のこんにゃく料理も大変好評でした。

展示部門には地域の保育園・小中学校をはじめとし、地域内外から書道・絵画・写真・陶芸・手工芸・生け花・

櫛引公民館趣味の講座受講生作品等の力作691点が寄せられました。展示期間中の平日には保育園や小学校がクラス単位で見

学に訪れ、自分の作品を指差しながら賑やかに出来栄えを話していました。

まなびいステージでは、会場が一体となり歌声を響かせたまなびいステージ中吹奏楽部と消防音楽隊の合同演奏など、特に大きな拍手を受けて日頃の成果を発表しました。

(くしごき文化祭実行委員会)

大盛況のうちに終えた地域のまつり

平成29年度 あさひ産業文化まつり

朝日中学校合唱祭・作品展示

● 10月28日～11月5日
朝日中学校・朝日中央コミセン



書道・絵画・写真・俳句等の作品展示を中心、10月28日(土)から11月5日(日)までの期間で開催、10月29日(日)には朝日中学校合唱祭が行われ、11月3日(金・祝)のメイン日には開会行事や芸能発表、屋外では、おまつり広場などを実施しました。

は十数年ぶりの好天に恵まれ、多くの市民で賑わい、芸能発表部門では11団体14演目が披露され、立ち見客が出るほどの人気で、準備したプログラムが全て無くなり増刷するほどでした。またおまつり広場では麺類等が早々に完売するなど、例年には入込があり、大盛況のうちに終えることができました。

朝日地域の芸術文化活動の成果と産業等を広くPRし、楽しんでもらえる良い機会になりました。
(あさひ産業文化まつり 実行委員会)



水墨画、写真、陶芸、彫刻、銅版工芸、書道、生花、しな織作品、絵画、手工芸、キルト作品、地元福祉施設「温寿荘・愛寿園」の作者の思いを乗せた力作が展示されました。地域に暮らすからこそ生まれた作品もあり、風土が持つ力を強く感じさせられました。

11月3日の最終日は、ステージ発表、茶会、「もみじが丘」・婦人会のバザーなど、終日の賑わいに会場全体が地域の真心と力に満ち溢っていました。

ステージ発表では、沢山の方々に出演いたただき感謝申し上げます。温海愛に胸熱くした文化祭でもありました。

温海文化祭実行委員会

第34回 温海文化祭

作品展示・ステージ発表・茶会

● 10月27日～11月3日
温海ふれあいセンター



10月27日から開催の展示部門には、保育園児・小・中学校の児童・生徒の絵画をはじめ、充実した内容に多くの皆様に足を運んでいた

だきました。保育園児の作品は、工夫がなされ、作成した時の写真が添えられて、カラフルな飾り付けがされていました。

11月3日の最終日は、ステージ発表、茶会、「もみじが丘」・婦人会のバザーなど、終日の賑わいに会場全体が地域の真心と力に満ち溢っていました。

子ども郷土芸能 文化まつり シンフォーリック荘内流 & 荘内流ジユニア出演

● 日時…平成29年11月25日(土)

● 場所…やまぎんホール(山形県民会館大ホール)

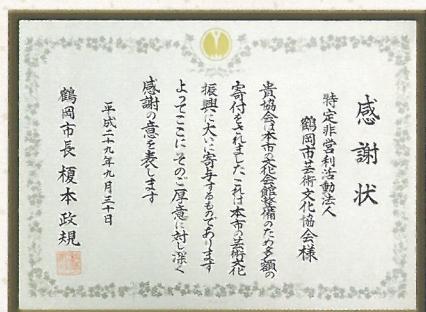
● 主催…山形県芸術文化協会

● 共催…山形県民会館指定管理者(株)

● ステージアンサンブル東北

● 後援…山形県

シンフォニック荘内流7名、荘内流ジユニア13名での参加でした。大舞台でのその演奏は、こども達にもとても良い経験となりました。演奏曲目は「さくら」、「最上川舟唄」の二曲。その音色はやさしく、優雅な旋律として響き、感動的な演奏となりました。



寄付金に感謝状

鶴岡市芸文協では、新

感謝状

特定非営利活動法人
鶴岡市芸術文化協会様

寄付を貰ひました。これにて本寺の御花

振興費いたしましてあります。幸

よってこのござん意に對し深く

感謝の意を表します

平成29年9月30日

9月の会館竣工式席上で市長より、感謝状をいたいたことをご報告申しあげます。

鶴岡市長 榎本政規

平成29年度 総合型文化クラブモデル事業

～子供たちより～

●上郷小学校 6年 謙訪 由賀

僕はこの伝統文化活動を通して、改めて伝統は大切だなと思いました。



芸能のつどい



この事業は、子供たちに芸術文化に触れ親しむ機会を設け、豊かな心と感性を育むとともに、地域への愛着と誇りの醸成を図ることを目的とし、山形県芸術文化協会より、モデル地域に選定され、3年を実施年として展開しております。

今年度は、文化クラブの開催から2年目となり、これまで日々熱心に取り組んできた放課後子ども教室の子供たちが、今年1月27日(土)、第46回芸能のつどいに出演し、目いっぱいの演奏と舞踊を披露しました。どの演目も大きな拍手を受け、子供たちのやり切った表情に観客、関係者皆一同に感激しました。

●西郷小学校 2年 照井 瑞愛

本番ではリハーサル通り演奏できました。これからも伝統文化に親しみながら生活したいです。



やうがはじまってからもふりつけがよくわからなくて、少しいやなきもちがありました。でも、やっているうちに少しずつおぼえられるようになつて、とても楽しかったです。本番の日は、けしょうをしてもらつたり、きもかみをセットしてもらつたり、

○講師より

初めて事業に講師として参加させて頂きました。子供たちの茶道に対する興味は高いと感じました。子供たちが芸術文化に触れる機会が長く続けばと思います。

大変お世話になりました。子供たちの指導日も少なく間に合うのかとも不安でした。先生からの指導がない日は楽しみながら自主練習を重ねました。

先生のおかげで無事発表出来たことは大変うれしかったです。

○上郷こども教室(保護者より)

全く馴染みのない尺八と詩吟の練習をしていると聞き、正直この子たちに出来るのか、タクトでの発表まで数か月、先生からの指導日も少なく間に合うのかとも不安でした。先生からの指導がない日は楽しみながら自主練習を重ねました。

先生のおかげで無事発表出来たことは大変う

つたりして、とてもうれしかったです。なんようとすると思つていたけど、本番では練習したことしつかりはつきることが出来て、本当によかったです。またこのようなきかいがあればぜひやってみたいと思つています。ありがとうございます。

●放課後児童の活動は児童の興味が様々なものにあり、民話を聞く、そして語りたいと取り組んだ児童は少數だった。発表が決まった段階からは意欲的で、発表も堂々としたものでした。

○民話教室

放課後児童の活動は児童の興味が様々なものにあり、民話を聞く、そして語りたいと取り組んだ児童は少數だった。発表が決まった段階からは意欲的で、発表も堂々としたものでした。

○ちぎり絵教室

ちぎり絵の作品作りで皆さん夢中になり、和紙を手でちぎる難しさを感じたようでした。また、子供たちなりに素晴らしい発想があり、感心するほどの作品に仕上がったときはどの子もうれしそうな様子。終わる頃には次の目標、何をやりたいか自分の意見もしつかり発言し微笑みながら手伝いでさうれしかったです。

○絵画・工作教室

①当日の担当者として楽しんで指導できたが目的とした地域への愛着と誇りをどう具体化するかが難しい。②参加者の子供の中にリーダー的な役割が必要と思う。③系統だった実践はできず、つけ焼き的な行事になつてしまつた感がある。④芸文協に沢山の実践母体があるので、位置づけも必要ではないかと思う。



●豊浦小学校 6年 佐藤 亜胡

今回、茶道と箏を体験してみてたくさんのことを感じました。茶道では普段飲むお茶とは違い、自分でお茶をたてることでより一層奥深さを感じられました。そして作法も美しく丁寧にする上品さを感じ、日本風のおもてなしを学びました。箏では大きな舞台も経験させてもらいました。全員で奏でる箏の響きが心にしみる楽器です。ほぼ触れることのない箏をこうして触れてみると日本風の美しい音色がまた違つたよさがあつて楽しかったです。このよつな体験をすることで1つの経験としてとても貴重だなと思いました。私は和太鼓をやついて同じ和楽器だけ少しでも自分の経験値として皆に自慢したいです。



○茶道教室

初めて事業に講師として参加させて頂きました。子供たちの茶道に対する興味は高いと感じました。子供たちが芸術文化に触れる機会が長く続けばと思います。

大変お世話になりました。子供たちの指導日も少なく間に合うのかとも不安でした。先生からの指導がない日は楽しみながら自主練習を重ねました。

先生のおかげで無事発表出来たことは大変う

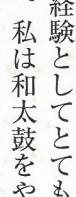
○教室関係者より

初めて事業に講師として参加させて頂きました。子供たちの茶道に対する興味は高いと感じました。子供たちが芸術文

化に触れる機会が長く続けばと思います。

大変お世話になりました。子供たちの指導日も少なく間に合うのかとも不安でした。先生からの指導がない日は楽しみながら自主練習を重ねました。

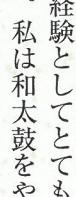
先生のおかげで無事発表出来たことは大変う



○上郷こども教室(保護者より)

全く馴染みのない尺八と詩吟の練習をしていると聞き、正直この子たちに出来るのか、タクトでの発表まで数か月、先生からの指導日も少なく間に合うのかとも不安でした。先生からの指導がない日は楽しみながら自主練習を重ねました。

先生のおかげで無事発表出来たことは大変う



- 上郷地区：尺八「チューリップ」ほか 4曲 3名出演
- 詩吟「偶成」 8名出演
- 矢引文殊太鼓「義経と弁慶・義経と静御前」 12名出演
- 西郷地区：日本舞踊「さくらさくら」、絵図塗 14名出演
- 由良地区：文化筝「最上川舟歌・さくら」 12名出演



第12回鶴岡市芸術祭協賛者芳名簿

(敬称略・順不同)
は担当者

藤島芸術文化協会
黒菅菅三遠蛸松難今安(有)小
井原原浦藤井浦波野野 清 関
弘邦喜志文 安宮政旅 和 やゑ子
子夫子保子亨雄子幸館会

渡魚佐渢三倉佐よモ小
部住藤谷浦部藤いド澤
道百寿惇尚久洋写口紀
合美
子子子子子子子館京美
真木小遠佐鈴小文石小
嶋村林藤藤木黑林園野
科正科美空
径星翠彩心嶺竹家具幸
医歯医院
琴燁香雲石華院山
上耕松梅坂本
本部田池橋田川
芙蓉義謙節厚太郎
子夫三和二子子子
進秋子泉雅子雅子
三五星佐阿田阿友阿
浦嵐野藤部中部野部
千富美
眞子
佐遠難後
藤藤波藤
朝浩八登重
子幸子美

五三齋白齋尾今小豊結仁さ地藤
十嵐浦藤幡藤形井林田城三主間
秀茂よ清新瓊朋吉悦美旅でん
子子子子子子明子枝館き局
長安渡渡高鈴佐高山鈴三石乳久小佐
谷川達部橋木藤橋村木矢川井保杉藤
間理早明理正勝雄
浩正滋滋理早明理正勝雄
香苗美香肇純士雄實三誠晃
鶴一人人

佐池庄佐鈴 山齋佐菅難小富金齋照難上齋阿(有)(株)山
藤田司藤木 本藤藤原波寺樺内藤井波野藤相や部三本
直恭こし 和峯重 い 勝英和玉元降金ま久口淡
文枝子み未 夫男章卓寛子毅雄雄直記芳信弥よ店ク井
佐山遠佐諭佐佐佐高庄佐佐 千千千千 安田渡佐阿大上佐柏
藤下藤藤訪藤藤橋司藤藤 川川川川 藤村辺藤部滝林藤樹
け美豊き節勇 節青春芳 香京貴貴 みた信秋玉清武美京
さ恵み み み子喜を子治睦子三治惠睦 雪紅樂樂 子子子子子子子子惠德

菅原正朝	月山バイオットファーム相馬一広	富田佐森森大小服武渡菅丸佐檜中藤屋屋戸竹部谷辺原山藤耕典和し廣初郁喜美節恵芳昌一子子井子子弥子恵子子子直	百菅佐丸岩清五百太瀬原木山城野嵐瀬健つ淳邦美健治子実一夫勇年治	佐鈴吉榎佐長鶴高佐佐加佐佐松(有)木久谷本間川見橋藤藤藤藤藤藤本文化くべ印刷食飲	松本田木藤藤智恵茂藤美末恵子子子	鈴志鈴伊佐木田木藤藤智恵茂藤美末恵子子子
------	-----------------	--	---------------------------------	--	------------------	----------------------

上青菅林柳原勝三修求	(株)佐藤橋管本工設備祥造燐(株)	澤伊小春渡安小中安谷藤寺山部達林山達史早智早由満玖美満織由子苗子美未子美	鈴板木石小成後小木垣本川竹瀬藤竹洋優一淑禎睦淑勉子子子子子子	井伴伴伴井コ皆伴上ム川庄上リス庄吉和香子一顯弥商事I店子	(株)柿村崎庄石子エサポート門孫I(株)店店店ム院所	山大小工三(有)五十嵐工場五十五嵐工場刀沢原春真美智笑男子子
------------	-------------------	--------------------------------------	--------------------------------	------------------------------	----------------------------	--------------------------------

五十嵐ミートデリカド院印刷	羽オレンジカンパニーランドエラーナ堂を義	吉寛美容室あさ義	井佐中山橋吉富岡浅五十瀧滝上木田口本田櫻賀嵐沢沢康光信素せ直由真千廣理子子子子子つ之美子春明元元	加伊藤土加深藤科育眞知子聰之海	豊田清藤の里水青果店	堀堀須川川堀田崎侯公勇賢公朋規庄一郎	大伊牧戸松三菅鎌木原達野村原浦原田裕幸昌茂澄美子子子子也雄求子
---------------	----------------------	----------	--	-----------------	------------	--------------------	---------------------------------

鶴岡富士区医師会	加藤嘉八郎酒造会社	阿藤士藤嘉八郎酒協会夫	齋加山伊堀遠鯉地ト金賀山賀藤山崎藤井川主ワ屋造園捷薬孝み健善酒浩吳服土局子よ子道屋造子店木三	鶴岡関渋石本佐木加清鈴斎柴川尻ア佐藤田谷塚間藤村藤水木藤田モー写真京千紀美幸知保里と昭三恵一タ事務所	伊菅松佐竹廣本三佐齋五十嵐尾形木山岳会(有)壳堂	伊藤日進アラフキ販賣會
----------	-----------	-------------	--	--	--------------------------	-------------

鎌斎佐藤田謹助商店	佐藤宗僚	高佐上安石熊三高々橋木林藤川田浦橋	小今佐森中阿斎富小河木太地裏千林間藤村部藤櫻林野田主家林宗宗宗宗宗印茶淡交子	常菅佐長菅手清熊手谷世原藤川原塚原田塚侑洋賢裕花広裕	原金山巣佐田山田見藤香喜節励正佐織子子子一	佐佐佐藤藤紀真由子美樹	大館一大
-----------	------	-------------------	--	----------------------------	-----------------------	-------------	------

進白鈴恩	アゴ松鶴ハイヤーセンターフラムセシス品生花業刷	宮田真由美	丸中長古木山莊扇木み中谷内根根内コシシーフラムセシス品生花業刷	堀堀五渡五村阿栗田菅大堀十嵐部嵐田部本中滝	小池石佐小佐菅小伊加伊小佐上松田塚藤藤原北藤藤藤泉	藤野い	生鐵
------	-------------------------	-------	---------------------------------	-----------------------	---------------------------	-----	----

増前黒高山前安富菅遠庄	佐内き山田井橋崎川達樺原藤医部	阿佐理喜京和美邦美紀竹療ら園瑞代知生わ香代子澤子子子子子恵協芸子	結布百阿小今上澤高我佐長大城川瀬部林野西田樹妻藤南木包珀陽彌由ひ珀水陽草珀泰湖装翠子子苑み彩光舟朱佳子春	大八龍成丹加大佐(有)五十嵐器東北建材部	布川珀下藤瀧藤盛	布川珀下藤瀧藤盛	布川珀下藤瀧藤盛
-------------	-----------------	----------------------------------	--	----------------------	----------	----------	----------

芸術祭開催にあたりまして、皆様より多くの協賛金を賜り、誠にありがとうございました。ここにご芳名を掲載し、衷心より厚くお礼申し上げますとともに、今後共一層のご協賛を賜りますようお願ひ申し上げます。	協賛者の皆様へ	庄(株)本(株)三(株)鶴菅小内銀行大山支店建(株)会(株)食園(株)夫	菅佐佐瀬大ふ若み原藤藤尾滝原(株)浦工藤動ト稚設達	庄阿北坂斎庄田田方部田和洛行道召翠翠舟三翠	飯饭土阿饭田田方部田和洛行道召翠翠舟三翠	アリスト足射療法センター高橋玲	佐伊金難藤藤瑞佳纪恵子子子子
---	---------	--------------------------------------	---------------------------	-----------------------	----------------------	-----------------	----------------

白五鹿清鈴阿難難事十幅嵐野野木部波波政律喜睦栄武佳藏美一子子子子美子義局	渡大小山斎阿高渡渡部井池口藤部橋部	安高渡横阿木山石武藤クリーンング	渡部井池口藤部橋部	野橋部山部村田川秀栄宮松啓清慶淳	渡部井池口藤部橋部	野橋部山部村田川秀栄宮松啓清慶淳	伊遠莊大内山工住保建育老人福祉センター
--------------------------------------	-------------------	------------------	-----------	------------------	-----------	------------------	---------------------

まちなかアート鶴岡

2017 9/2sat~10sun

9月2日(土)~10日(日)

- ◆会場：エスマール
 - ・鶴岡書道会
 - ・書道研究 飛雲会
 - ・稻京短歌会
 - ・古流松應会
 - ・小原流
 - ・生け花 草月流
 - ・書法研究 山紫会
- ◆会場：FOODEVER
 - ・松涛短歌会

9月3日(日)

◆会場：マリカ広場
『こどもアトリエ』によるアートワークショップ

9月3日(日)

◆会場：丙申堂
錦心流琵琶全国一水会鶴岡支部

9月3日(日)

◆会場：内申堂
田川民話の会

9月3日(日)

◆会場：八沢会
さゝ波会

9月9日(土)

◆会場：エスマール 光の広場
庄内農業高等学校文化部

9月10日(日)

◆会場：エスマール 光の広場
庄内金管合奏団

9月10日(日)

◆会場：鶴岡タウンキャンパスピロティ
市民参加ミュージカル

9月10日(日)

◆会場：鶴岡タウンキャンパスピロティ
松柏吟友会

9月10日(日)

◆会場：鶴岡タウンキャンパスピロティ
山形・庄内よさこい連盟

9月10日(日)

◆会場：丙申堂
淡井会

9月10日(日)

◆会場：丙申堂
鶴岡竹友会

9月10日(日)

◆会場：丙申堂
鶴城清吟会

9月10日(日)

◆会場：丙申堂
藤静会

第3回

まちなかアート鶴岡

「庄銀タクト鶴岡の竣工を祝い、まちなかでの芸術祭を開催」をテーマに、庄内の約30団体が参加した。

芸術作品、音楽、ダンス等の力強いパフォーマンスと、展示作品を魅せ、世代を超えた幅広いジャンル枠でのアートイベントが実現し、活気ある街づくりを芸術文化の力でアピールする良いチャンスとなつた。※ここには、芸文協非加盟団体のみの掲載にとどめました。ご了承下さい。

編集後記

昨年の芸術祭に参加された各団体の、9ページにわたる実施報告はなかなかの圧巻であった。毎年のことではあるが、これだけ多くの団体が、生き生きとそれぞれの「美」を追求する様子を伺いながら、楽しく編集作業を進めることができた。

大賞を受賞された鶴岡書道会の方々と、県の最高栄誉である「茂吉文化賞」を受けられた柿崎泰裕氏には、心からのお祝いを申し上げたい。

さて、平成30年度の県芸術祭開幕記念公演の担当が鶴岡芸文協に巡ってきて、「表現舍刻一刻」代表佐藤正一氏の構想による、総合舞台劇「水のファンタジー」の稽古に間もなく入るところである。

この一大事業を鶴岡の威信にかけても成功裏に納めるために、全参加団体の絶大なる協力と一致団結をお願いする次第である。

(加賀山)